

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第1週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第1週分 1月1日～1月7日（1月10日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：315人、定点医療機関当たり6.56人、新規患者推計値※：1,487人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

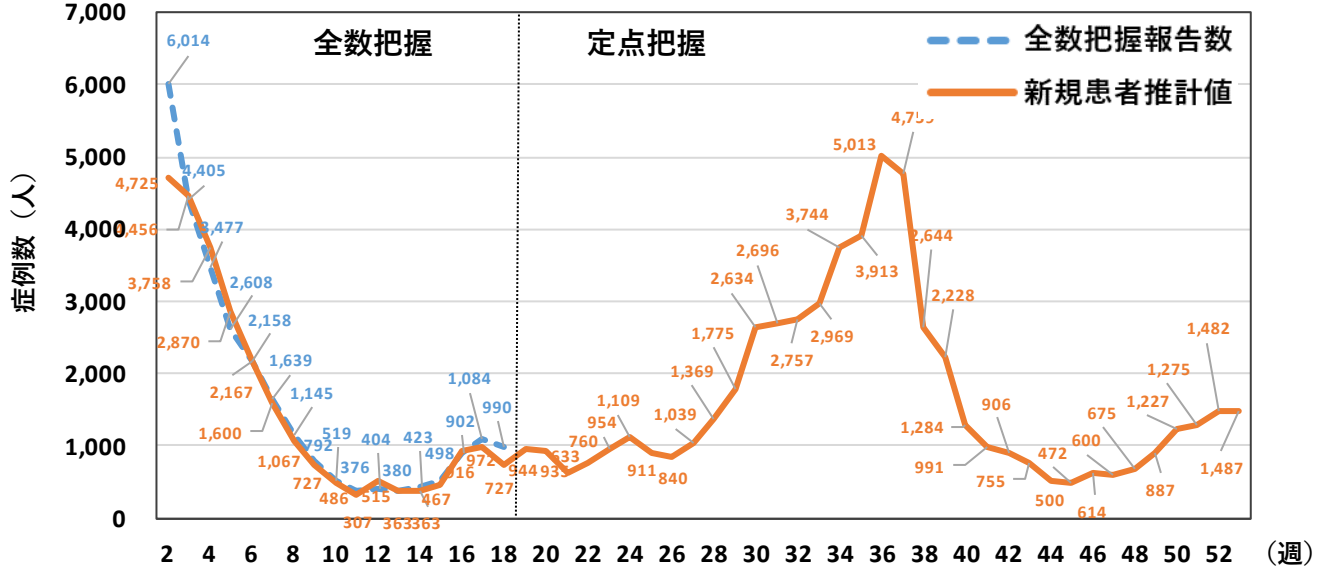


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

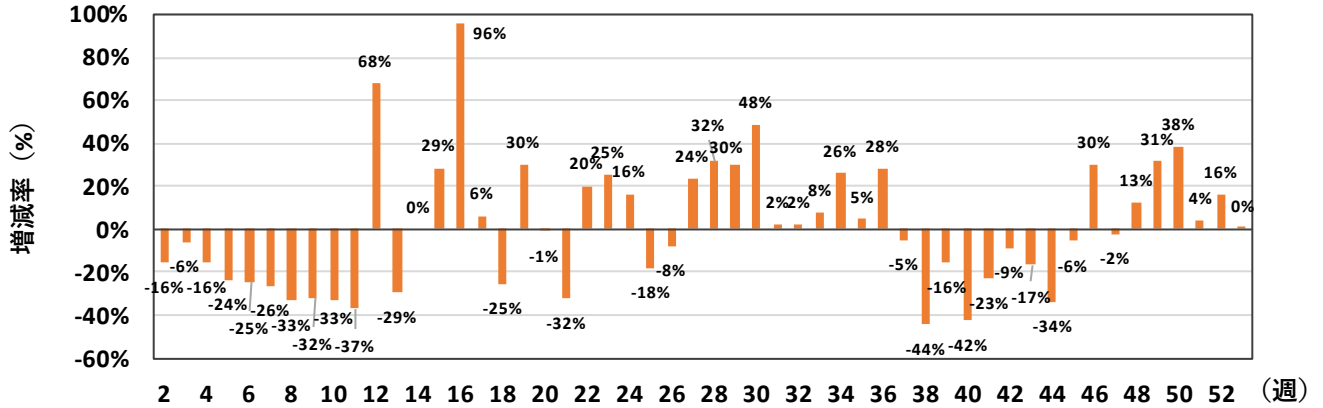


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第1週）

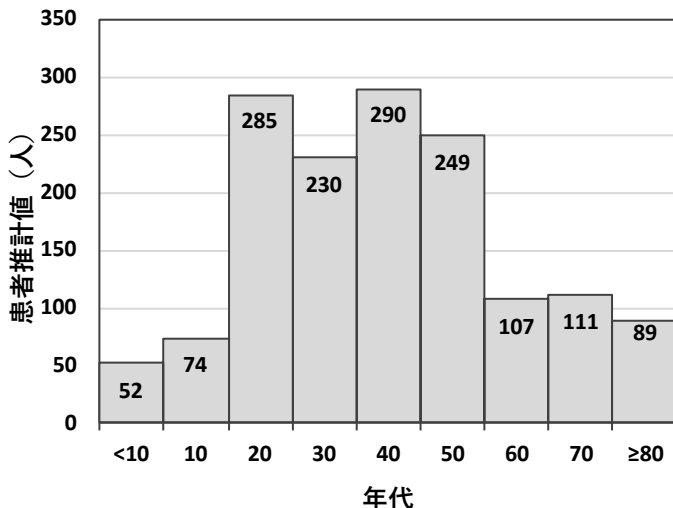


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第1週）

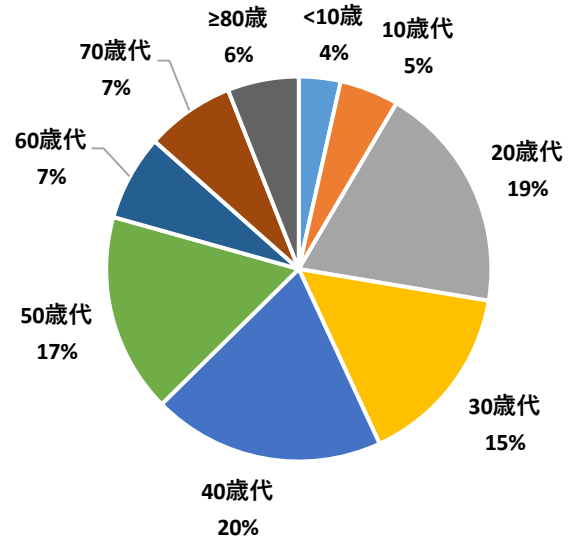


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移 (富山県)

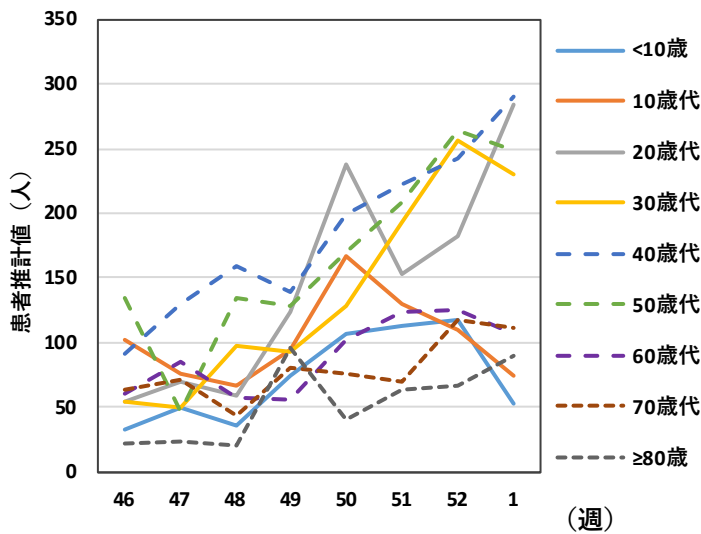
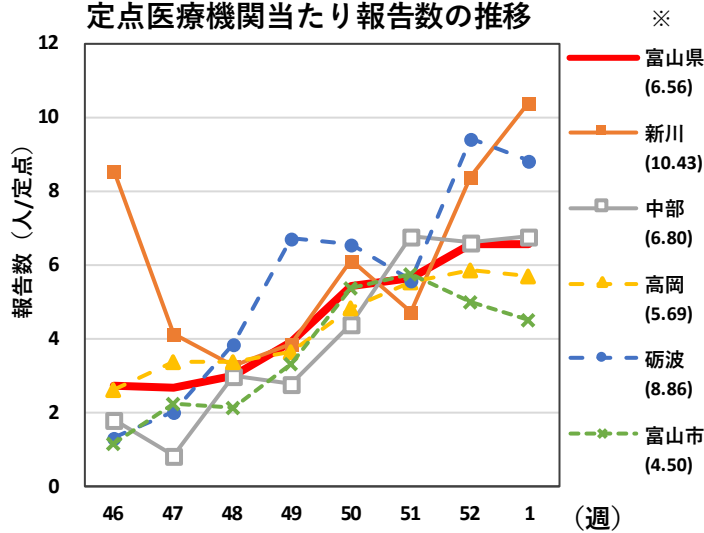


図6. 厚生センター・保健所管内別  
定点医療機関当たり報告数の推移



※ ( ) 内は今週の定点当たり報告数

図7. COVID-19入院サーベイランス  
年代分布 (第1週、23例)

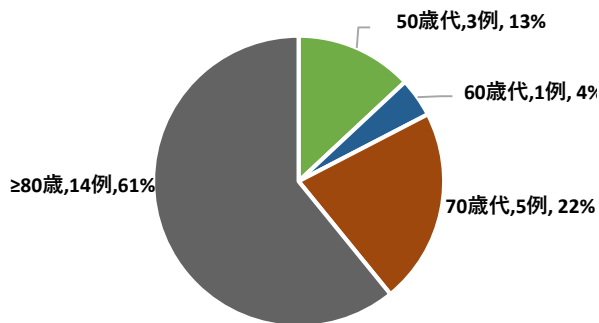
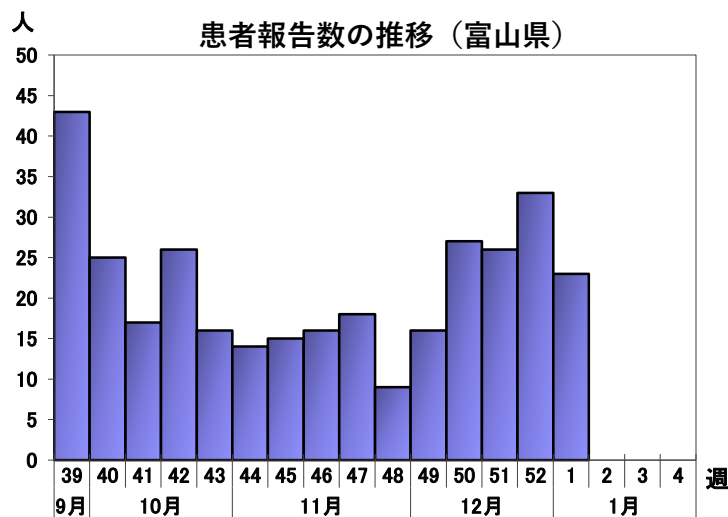


図8. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移 (富山県)



第1週 (1/1~1/7) 時点での所見と評価

- 第1週の定点医療機関当たり報告数は6.56人、新規患者推計値は1,487人であった。前週推計値 (第52週、1,482人) から横ばいであった (図1、2)。なお、年始の定点医療機関の休診により、流行状況を過小評価している可能性がある。
- 第1週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。40歳代が最も多く20%を占め、次いで20歳代 (19%)、50歳代 (17%) の順であった。60歳以上の割合は20%で先週 (22%) とほぼ横ばいであった。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。20歳代と40歳代で増加がみられ、その他の年齢は減少または横ばいであった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で6.56人/定点であり、先週 (6.54) と同等であった。新川管内で増加がみられ、その他の管内では減少または横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第1週に23例の入院報告があり、先週 (33例) から減少した。年代分布では、70歳以上が83%を占めた。 (図7、8)。
- COVID-19の定点当たり報告数は、2023年45週以降、年末年始を挟んで緩やかに、継続的に増加していることから、今後の感染動向を注視する必要がある。